ふるさと

音更について大発見!!

音更町立駒場小学校
六年 真柄心琴 山岡妃莉
手塚奏 木村卓弁太
2022年11月16日 発行

なたね油って？

私たちは、ふるさとの音更について、みんなでくわしく調べました。なたね油、キキョウ、大袖振大豆、特産物について分かれて調べることにしました。

私は、音更で生産されているなたね油について調べました。なたね油は体に良いと言われていました。確かに健康を害する可能性はあります、全部が体に悪いというわけではありません。選ぶ時にはエルカ酸をチェックすることです。エルカ酸には、消化障害などをおこす危険があります。でも今は国産のなたね油は品種改良されエルカ酸を含まないなたね油が流通しています。また遺伝子組みかえではないものを選ぶとよいといわれています。日本には「遺伝子組みかえ制度」というものがあり、一部の食品には流通が認められています。

一方、なたね油のよいところは菜種に含まれるオレイン酸に抗酸化作用があり、がんや生活習慣病を予防してくれるところです。若返り効果も期待できます　私達はなたね油を選ぶ時に確認をしっかりして美味しくたべることが大切だと分かりました。

風味のよい
和風ドレッシング
ギョウ油
のっけ方
ギョウ油レシピ
作ってみよう
なたね油
ネギ
白酢
しょうゆ
しょうが
しょうゆ
しょうが
しょうゆ
しょうが

うのでぜひかいてみてほしいです。「色が濃いめで黄色なんだ」ということがわかりました。菜種は9月頃種をまくらしいです。菜の花の種は思ったより丸く大きかったです。

私は、油を気にしたことはなかったけど色々知ることができてよかったです。

音更のシンボル

ぼくは駒場小のシンボルギキョウについて調べました。桔梗の特徴は桔梗科の宿根草で花期は6月～9月です。また古くから日本人にとって馴染み深い桔梗は近年固体が減少し絶滅危惧種に指定されています。桔梗の種類は野生の品種が絶滅危惧種ですが、園芸品の桔梗には多くの種類が出回っています。桔梗の花の色は紫や青の他にピンクや白のものもあります。咲き方は良く見る一重咲きや八重咲きの品種、大輪の花が咲く品種や花が最後まで開かない袋咲きの品種もあります。ぼくはききょうについて学習してきょうは絶滅危惧種になっていたり、色々な品種がわかりました。

また、色も紫や青、白やピンクなどがあり、知らなかったことを知れてよかったです。

音更のおいしいもの

ぼくは音更で栽培されている作物について調べました。すると、ニンジン、ブロッコリー、タマネギ、長いも、カボチャ、長ネギ、アスパラガスなどたくさんあることがわかりました。

これらの作物は、農畜産物等販売所や道の駅「なつぞらの里」などで買うことができます。「なつぞらお場（道の駅）では、「地元の農畜産物など使った加工品や物産品などを販売」、直売コーナを設け季節に応じた十勝、音更町の「美味しいもの」を届けていることがわかりました。

ぼくは、音更町のしん仕んでおいしい作物をぜひ道の駅などでみつけて食べてほしいなと思います。

音更の大豆!!

私は、大袖振大豆について調べました。大袖振大豆は、半世紀を超えて栽培されています。音更町で初めて大豆が植えられたのは明治十六年でこれは芋や麦より早かったそうです。

寒い気候の中で作られた北海道の大豆は甘さがあってイソフラボンが多く含まれています。なので品質が高いといわれています。

大袖振大豆は寒い音更の気候にもぴったりな作物だとわかりました。

編集後記

私たちは、音更についてくわしく調べて、豆の歴史やなたね油のよいところなど今まで知らなかったことがたくさんあってびっくりしました。

音更に住んでいても知らないことがたくさんあったので、これからも色々なことを知って、ふるさとの音更をもっともっと好きになりたいです。